

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年5月13日

事業所名 オールケア北千里

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			効率的な動きが出来るように努めている。
	2 職員の配置数は適切である	○		必要な場面で職員を増員している。	時間帯や休日等に、増員している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差はなく快適に、動いている。	今以上に環境整備や情報伝達できるように努力いたします。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		気付いた時には話し合っている。	計画書に落とし込んでいるようにしている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートやお話を伺い、業務改善を目指している。	ご意見を真摯に受け止め改善を目指している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		公開していきます。	令和2年の開設なので今年からホームページで公開します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価はしていませんが、内部監査など改善に向けて取り組んでいる。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修や内部研修に参加しています。	研修や業務の中で人材育成に努めている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		お話をする機会を設けるように努力している。	聞き取った内容を理解し支援に反映するように計画し支援に繋げていきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		契約時には統一した用紙を活用している。	標準化されているわけではないが質問内容を一致することで理解に努めている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者が決めているが、意見は取り入れている。	個別な意見を生かして立案できるようにします。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			児童により興味を持ってもらえるよう努力しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日や休日の違いをメリハリのある活動を目指しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者の要望を取り入れながら計画している。	それぞれの活動の内容は反映できるようにしています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		申し送りや情報は漏れがないようにしている。	前日に計画するように努め職員間での、やり取りを密にしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		実施するようにしています。	振り返りは常に出来るように情報共有に努めます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録用紙、議事録を、使用しています。	様子観察したことや活動の内容の記録を分かりやすく記入することで、話し合いが出来き改善・工夫できる。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		普段の会話からも聞き逃さないようにしています。	状況の変化に応じて保護者に提案できるようにします。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		複数の活動内容に沿った支援を目指しています。	なるべく組み合わせられるよう努力しています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管、管理者が参加する。	職員にも理解できるように指導していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			送迎時はもちろん連絡し、分からないことなど確認は出来ている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			主治医の指示書は変更があれば訂正依頼をします
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		情報共有が出来るよう努力いたします。	出来ていません。今後実施できるように働きかけます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			生活介護との多機能型なので可能です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		コロナ禍で研修の参加が出来ていません。	今後も研修に参加し連携を図りながら支援に反映できるようにします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナ禍で自粛しています。	積極的に参加できるように努めます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		コロナ禍で自粛しています。	情報を把握し参加できるように努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の報告はノートや、送迎時に伝えている。	対面で話が出来る、送迎時など
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		聞き取りは常に心掛けています	ペアレントトレーニングは出来ていませんが、要望は、常に確認するようにしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に、契約書重要事項説明書で説明している。	変更内容があれば説明できるようにします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の会話から、読み取る様心がけている。	常にお声かけしていき把握できるようにします。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ禍で自粛していますが計画を立てます。	保護者会は出来ていませんが、行事やデイの見学会など開催できるように計画します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		可能な限り早めの対応が出来るように、心がけている。	苦情時には訪問をして対応するように、心がけている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		機関紙にて活動内容を、お伝えしている。	ブログなども活用しながら発信できるように、努力します
	35	個人情報に十分注意している	○		常に配慮している。	情報管理の徹底は今後も続けていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		常に配慮は、心がけている	お声掛けにより常に配慮が出来るように、意識している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		コロナ禍で自粛していますが祭りなどの行事を開催を計画しています。	今後、行事を計画し実行できるように考えています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			常に変化があるごとに保護者にお伝えできるようにします

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎月の訓練の実施を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			外部研修を受けた職員が内部研修等で周知しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		記入していきます。	同意を得るようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		個別に明示している	指示書への記入はないが、保護者より指示があり対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット ・事故報告を共有	事例を報告書で上げ改善していきます

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:2022年5月13日

事業オールケア北千里

保護者等数(児童数)12名

回収数 12枚

割合100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12					利用児の状況に応じたスペースの確保が出来るよう配慮しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1				人材育成に力を注ぎます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12					安全・安心に過ごせるように努めます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	1				細かい聞き取りを目指して、計画作成に努めます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1			自宅で出来ないことをして欲しい。	固定した活動の見直しや、新たな活動の発見に力を注ぎます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6	1		コロナの影響でできていないのか？	今後計画を立て、実施できるように努めます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12					分かりやすく、説明いたします。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	11	1				様子観察を怠らず、情報を伝え理解を深めるように致します。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11		1			聞き取り内容を理解し、お応えできるよう努力いたします。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	4	2			開催できるように計画し実行できるよう努めます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1			その状況になかったため。	速やかに対応いたします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					個々に応じた、配慮が出来るよう心がけます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1				機関紙等の定期的な情報発信を。致します。
14 個人情報に十分注意しているか	12					取り扱いの管理を徹底します。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	1				各マニュアルを明確にし、説明できるように致します。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	3	1			実施している内容を報告いたします。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12				デイが好きみたい	楽しんで頂けるよう支援いたします。
	18 事業所の支援に満足しているか	12					日々の積み重ねを忘れず努力いたします。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。